

経営比較分析表

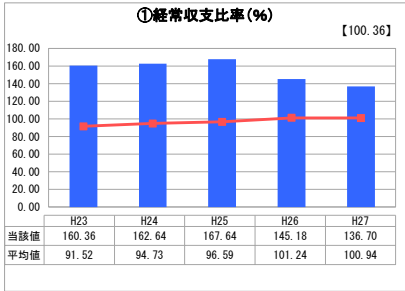
埼玉県 日南市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	58.02	1.69	86.42	2,710

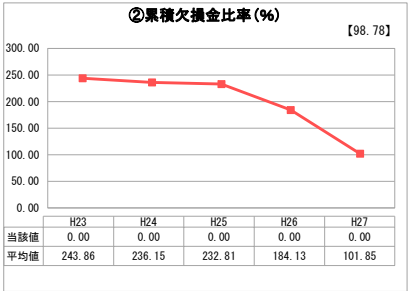
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
57,015	47.48	1,200.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
963	0.32	3,009.38

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

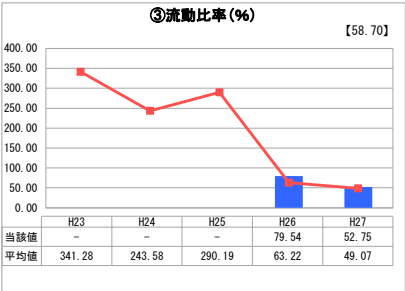
1. 経営の健全性・効率性



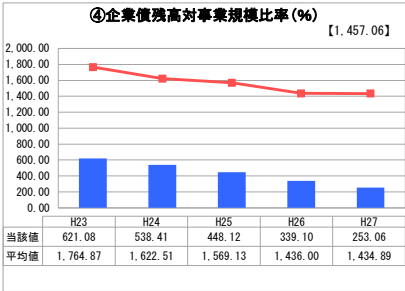
「経常損益」



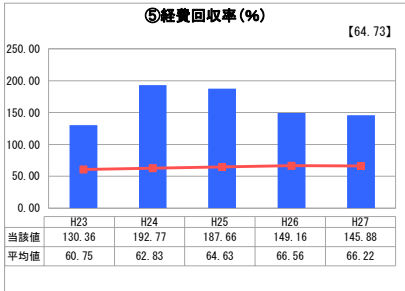
「累積欠損」



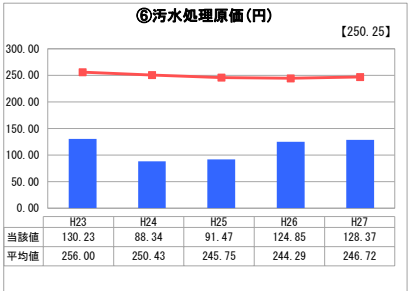
「支払能力」



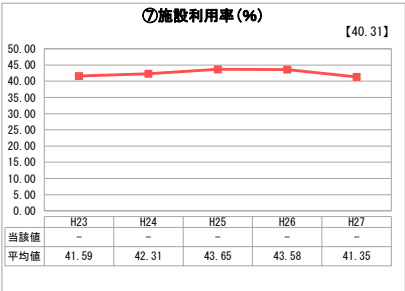
「債務残高」



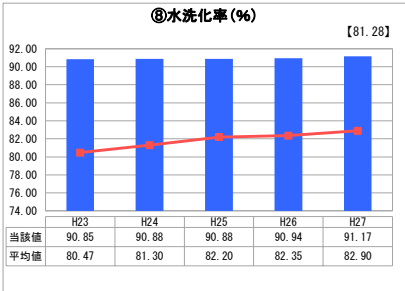
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

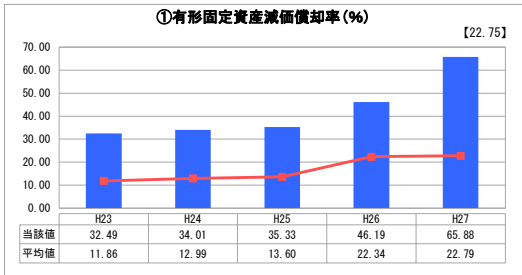


「施設の効率性」

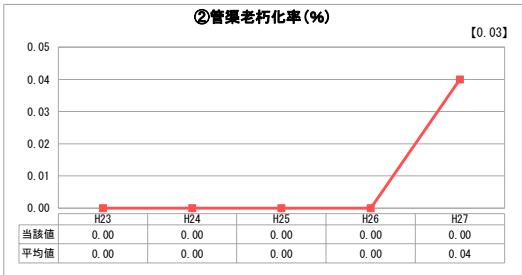


「使用料対象の捕捉」

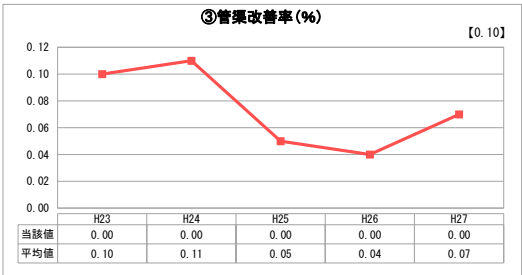
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収支は、黒字が続いており経営状況は安定している。

②平成23年度以降累積欠損金は、発生していない。

③比率が100パーセントを下回っているが、当市の特定環境保全公共下水道事業は、公共下水道事業と同一会計のため、次年度の企業債償還に支障が生じることではない。

④平均値と比較して当該地はかなり低い。これは、当市の特定環境保全公共下水道は公共下水道に接続されているため、終末処理場を有していないことが要因である。

⑤平均値と比較して当該地はかなり高い。この理由は④と同様で、終末処理場を有していないので、汚水処理減価が安価となっているためである。

⑥平均値と比較して当該地はかなり低い。理由については、⑤と同様である。

⑦特定環境保全公共下水道事業は、終末処理場を有していないため比率は生じない。

⑧当該値は、高い水準にあるが、100パーセントを目指し、引き続き普及促進に努める。

2. 老朽化の状況について

①特定環境保全公共下水道は、平成4年に供用開始し、23年が経過したところで管渠が法定耐用年数の半が経過しようとしている。

②法定耐用年数を経過した管渠はないが、点検等を実施し、現況確認を行い、適切な維持管理に努めたい。

③実績はないが、今後発生する管渠の改善にあたっては更生工事等工法を検討し、費用対効果を検証して実施していきたい。

全体総括

当市の特定環境保全公共下水道事業は、公共下水道に接続し公共下水道事業の終末処理場で汚水処理を行っている。特定環境保全公共下水道事業として終末処理場を有していないため、他団体と比較して維持管理費用等が安価となっている。このような要因から経営指標は、平均値と比較して良好なものとなっており、経営状況は安定していることが伺える。今後も更なる水洗化率の向上により使用料収入を確保し、公共用水域の水質保全を図り、公共下水道事業と一体となって施設の効率的な維持管理に努めたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。